

●鳥取県令和新时代創造県民運動推進「とっとりドリーム型」事業

令和2年度鳥取県令和新时代創造県民運動推進「とっとりドリーム型」事業の寄付金を活用して砂丘トンネル出口・県道265号線のり面の雑木を12名・2日間で伐採しました。

[日時]： 2020年11月5日・6日（木曜日・金曜日）

[場所]： 県道265号線砂丘トンネル出口の多鯰ヶ池側

[内容]： クラウドファンディング資金・目標50万円に対して93.8万円寄付金が集まり、その資金で「チェーンソー防護ズボン・防護メガネ・防護手袋・伐採用備品」などを取り揃えて、天候に恵まれた2日間で見違えるほどの景観になりました。
たくさんのご寄付を頂きました皆さんに感謝申し上げます。



浜湯山・多鯰ヶ池活性化委員会メンバー12名の集合写真です



ニセアカシアを切り倒す活性化委員会のメンバーら
= 5日、鳥取市浜坂

鳥取砂丘周辺の 美しい景観再び

福部の住民団体
県道沿い雑木伐採

鳥取市の鳥取砂丘と多鯨ヶ池に挟まれた県道沿いの雑木の伐採が5日、現地では始まった。同市福部町湯山の住民団体「浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会」（飼牛

明代表）が、砂丘周辺の美しい景観を復活させようと企画。6日までに約700平方メートルの木々を伐採し、観光地としての魅力アップを図る。

砂丘につながる県道からはかつて、多鯨ヶ池や砂丘が一望できた。しかし、池側のり面は半世紀以上放置され雑木が生い茂り、整備を望む声が上がっていた。

同委員会は2018年からボランティアでのり面整備を始め、今回は鳥取県ふるさと納税型クラウドファンディング事業を活用。寄付の目標額50万円を大きく上回る93万8千円が集まった。

初日はメンバー12人がチェーンソーで高さ5〜10メートルに育ったニセアカシアやハゼを切り落とし、雑草を刈り取った。飼牛代表(72)は「多くの温かい支援は砂丘の景観保全への期待の表

れ。観光地としての砂丘から恩恵を受けてきた。ここそ恩返しする」と話した。
(野木 絢)

伐採前



伐採後





伐採作業画像





最後に除草剤散布